

(様式2(1))

事業所名 サンホームみかづきグループホーム

作成日: 令和 8年 3月 6日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	12	入居前の生活背景や「個人史」の把握を行っているが、入居後の情報蓄積や多職種での共有・活用に工夫の必要がある。	利用者の意向や「その人らしさ」を深く理解し、全職員が共通認識を持ってケアに活かす。	「個人史」の追記・更新ルールを明確にし、記録への蓄積を強化する。	12ヶ月
2	13	サービス計画作成時に本人・家族・医療関係者等の意見を反映させているが、その検討プロセス(会議議事録等)の記録管理をより徹底する必要がある。	意思決定支援のプロセスを明確にし、多職種および家族との合意形成の質を高める。	・サービス担当者会議の議事録を整理し、専門職の助言や家族の意向を確実に記録に残す。 ・アセスメントシートと計画書の連動性を月1回確認する。	6ヶ月
3	17	災害対策訓練(火災・水害・BCP)は実施しているが、シフト等の都合で参加できない職員への周知を徹底する必要がある。	全員がどのような状況下でも、マニュアルに基づいた確実な防災対応・避難誘導ができる。	訓練記録に基づく振り返りを合同会議・パートナー会議で行い、次回の改善に向け共有し実施する。	12ヶ月
4	7	権利擁護や成年後見制度について職員の理解のバラつきがあり、個々のニーズに応じた支援を深める必要がある。	全職員が権利擁護の視点を持ち、制度活用を具体的に検討できる体制を整える。	権利擁護・成年後見制度に関する研修を年2回実施する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。